

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	スポーツ推進審議会関係費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 37 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	スポーツ基本法第31条の規定により、スポーツ推進に関する重要事項を調査審議する機関として設置した藤沢市スポーツ推進審議会の開催及び委員活動を円滑に実施、市民のスポーツへの意識啓発、普及、促進に寄与する。						
対象	1. 個人	市民				429,317	人
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施内容	審議会を開催し、本市スポーツ行政の重要な事項について審議を行った。 審議会開催 年4回 委員 12名 (主な審議事項) 平成30年度体力づくり運動推進功労者表彰候補者の選考について 「みらいふじさわスポーツ元気プラン実施計画」進捗状況について						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		主な事業内容	
		費目	支出済額(千円)		
		報酬	304 千円		スポーツ推進審議会委員報酬
	304 千円				
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
		費目	支出済額(千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金			
		県支出金			
	304 千円	その他 ()			
		一般財源	304 千円		

	平成30年度
正規職員等	0.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	3,050	2,226	2,289	2,209			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	2,369	2,233	2,339	2,231			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	460	304	405	304			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,909	1,929	1,934	1,927			
	職員数(常勤 非常勤)	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	1,808	1,820	1,844	1,833			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	101	109	90	94			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	681	-7	-50	-22			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	681	-7	-50	-22			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	7.25	420,619	5.24	425,105	5.35	427,501	5.15	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		本市のスポーツ推進に関する重要事項を調査審議した内容が成果となるため、数値で表すことができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	「みらいふじさわスポーツ元気プラン実施計画」の進捗状況について各団体からの意見を集約し，計画の見直し等を含めた検討を行う必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	関係団体との協議，調整を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	体力づくり推進運動功労者表彰候補者の選考，「みらいふじさわスポーツ元気プラン実施計画」の進捗状況の確認等を行い，スポーツ行政の充実を図った。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後もスポーツ推進に関する重要事項を調査審議し，スポーツ行政の更なる充実を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
26	スポーツ推進審議会の庶務に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	学校体育施設開放事業費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	02	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 49 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市内小・中学校の体育施設開放事業の円滑な運営を行うことにより、地域住民にスポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。 校庭・体育館開放54校(小・中学校)、プール開放35校(小学校) 開放は、学校教育に支障のない日の時間帯に行う。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法, 社会教育法					
事業実施内容	各開放校に学校体育施設市民利用運営協議会を設け、円滑な運営を図るため開放会議を行った。 全小・中学校で校庭・体育館開放事業, 全小学校でプール開放事業を行った。 1 校庭開放 利用人数 3 2 3, 2 4 7 人 2 体育館開放 利用人数 2 1 2, 7 6 6 人 3 プール開放 利用人数 6, 4 2 4 人						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢市立藤沢小学校体育施設市民利用運営協議会ほか53協議会) (委託等内容 : 藤沢市立小・中学校体育施設市民利用運営業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 35,502 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬	15,606 千円	藤沢市立小・中学校体育館管理指導員報酬
		需用費	6,342 千円	体育館床ウレタン塗装修繕ほか
		役務費	1,102 千円	施設賠償責任保険料ほか
		委託料	8,768 千円	藤沢市立小・中学校体育施設市民利用運営業務
その他	3,684 千円	学校プール一般開放管理指導員謝礼ほか		
財源内訳	H30年度 支出済額 35,502 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	35,502 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	50,723	47,118	46,809	45,030
	(1)現金を伴う支出 (千円)	47,319	47,151	47,060	45,138
	事業費(支出済額-②報酬合計)	37,772	37,506	37,393	35,502
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	9,547	9,645	9,667	9,636
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	9,040	9,101	9,219	9,167
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	507	544	448	469
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,404	-33	-251	-108
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	3,404	-33	-251	-108
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	120.59 420,619	110.84 425,105	109.49 427,501	104.89 429,317	

成果実績	指標名	学校体育施設開放事業利用者数	目標	420,000	単位	420,000	単位	420,000	単位	420,000	単位
			実績	448,573	単位	501,426	単位	519,068	単位	542,437	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				113.08		93.97		90.18		83.01	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	各学校体育施設の整備と備品の交換。 学校及び担当課における事務手続きの効率化と改善。 スポーツ施設に近接する小学校や，小学校間が近接している開放施設は利用人数が少ない。
(2) (1)解決のための今後の取組	各施設の現状把握と教育部との横断的連携による対応の検討。 事務手続きの見直しと事務手引きの作成，周知。 費用対効果や，必要性，効率性を踏まえ，利用人数が少ない小学校の開放日数を縮小し，検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市内小・中学校の体育施設開放事業（校庭・体育館開放54小・中学校，プール開放35小学校）の円滑な運営を行うことにより，地域住民にスポーツ・レクリエーション活動の場を提供し，地域スポーツ活動の推進が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	見直し(検討中)
継続して市内小・中学校の体育施設開放事業を行い，地域のスポーツ・レクリエーション活動の推進に取り組む姿勢を維持する。夏季の学校プール開放事業については，利用人数の少ない地区など偏りが生じていることから，地区の特性を考慮しつつ，見直しを図る必要がある。各地区の声に耳を傾け，地域の実情を踏まえた運用について検討する。		

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
35	学校体育施設市民利用運営協議会に関すること	無	無	1	
36	管理指導員に関すること	無	無	1	
37	学校プール一般開放に関すること	無	無	2	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	団体育成費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	03	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 26 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	地域スポーツや、競技スポーツ・レクリエーションの推進を図るため、各種スポーツ・レクリエーション団体を育成する。				
対象	4. その他	スポーツ団体及び市民 1			429,317 人
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法			
事業実施内容	スポーツ推進の中心となる市内団体としての藤沢市体育協会・藤沢市レクリエーション協会・地区社会体育振興協議会・藤沢市スポーツ少年団本部に対し、団体育成・活動支援を目的に補助金を交付する。 藤沢市ゆかりのスポーツ選手の功績を称える「スポーツ人の集い」を開催し、スポーツ活動の普及・啓発に努める。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 藤沢市体育協会) (委託等内容: スポーツ人の集い開催業務) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金及び負担金: 藤沢市体育協会 他) <input type="checkbox"/> その他 ()				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	170 千円	スポーツ人の集い開催業務委託
		負担金補助及び交付金	8,845 千円	地区社会体育振興協議会活動費補助金, 藤沢市体育協会補助金等
	9,015 千円			
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
	9,015 千円			
		その他 ()		
		一般財源	9,015 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	1.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	19,376	17,106	16,547	20,432			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	16,653	17,132	16,748	19,615			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	9,015	9,415	9,015	9,015			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,638	7,717	7,733	10,600			
	職員数(常勤 非常勤)	0.80 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00	1.10 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	7,232	7,281	7,375	10,084			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	406	436	358	516			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,723	-26	-201	817			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	2,723	-26	-201	817			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	46.07	420,619	40.24	425,105	38.71	427,501	47.59	429,317

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	地区スポーツ推進事業費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	04	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域住民が身近な場所で、スポーツ・レクリエーション活動を行うことができる機会を提供する。また、日常的な地域スポーツを普及促進するための大会開催業務を各地区社会体育振興協議会へ委託する。						
対象	1. 個人	市民				429,317	人
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施内容	小学校通学区ごとに設置された地区社会体育振興協議会が実施する地域スポーツ推進事業のうち、1事業について委託事業として位置付け市民スポーツを推進するもの。また、AEDを各地区社会体育振興協議会へ貸出し、各種事業に参加する市民の安全を確保するもの。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢地区社会体育振興協議会ほか34協議会) (委託等内容 : 地域住民を対象とした各種スポーツ大会の運営業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 6,134 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
		委託料	5,250 千円	各種スポーツ大会等運営業務委託											
		使用料及び賃借料	884 千円	AED賃借料											
財源内訳	H30年度 支出済額 6,134 千円	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.60</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.60	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.60
			平成30年度												
		正規職員等	0.60												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.60												
		費目	支出済額 (千円)												
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他 ()															
一般財源	6,134 千円														

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	13,904	11,903	11,783	11,851			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	11,862	11,922	11,934	11,916			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	6,134	6,134	6,134	6,134			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	5,728	5,788	5,800	5,782			
	職員数(常勤 非常勤)	0.60 0.00	0.60 0.00	0.60 0.00	0.60 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	5,424	5,461	5,531	5,500			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	304	327	269	282			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,042	-19	-151	-65			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	2,042	-19	-151	-65			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	33.06	420,619	28.00	425,105	27.56	427,501	27.60	429,317

成果実績	指標名	委託事業参加者数	目標	35,000	単位	35,000	単位	35,000	単位	35,000	単位
					人		人		人		人
	実績	33,484	単位	29,401	単位	13,718	単位	30,860	単位		
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		415.24	404.85	858.94	384.02					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者, 障がいのある方も, 誰でも気軽にスポーツに親しみ, 体力向上, 健康増進を図ることができる事業を展開する必要がある。 当該事業を通じて東京2020大会への気運醸成をさらに図ることが必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも気軽にスポーツに親しみ, 体力向上, 健康増進が図れるよう, 地区レクリエーション大会, 各種ニュースポーツの活性化を図るとともに, パラスポーツ普及・推進する。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成のため, のぼり旗の掲示やふじキュンの巡回を引き続き行い, PRを進めていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市立小学校区の35地区社会体育振興協議会が実施する各種スポーツ大会等事業を通じ, 地域スポーツの推進並びに健康増進の推進を図ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	事業統合
	各地区社会体育振興協議会への活動費補助事業と当該事業の目的, 内容が類似していることから, 令和元年度から活動費補助事業に統合し, 地域スポーツ・レクリエーション活動ができる機会と, 日常的にスポーツを楽しめる環境を継続して提供するとともに, 地域の特性に合致した柔軟な地区住民の健康増進・親睦交流の促進を図るための事業とする。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
44	各種スポーツ大会運営業務委託に関すること	無	有	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	各種大会・選手派遣事業費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	05	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	スポーツの普及推進を目的に、広く市民に対し競技会参加の機会を設け、競技力向上及びびスポーツ人口の拡大を図るため各種大会を開催する。また、県主催の競技会に市代表選手を派遣する。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツまつりふじさわ2018開催業務 ・市民総合体育大会継承大会開催業務 ・県下駅伝競走大会藤沢市代表選手選考業務 						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢市体育協会, 藤沢市陸上競技協会, スポーツまつりふじさわ) (委託等内容 : 市民総合体育大会継承大会開催業務, スポーツまつりふじさわ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 2,977 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	2,977 千円	市民総合体育大会継承大会開催業務委託 ほか
財源内訳	H30年度 支出済額 2,977 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	2,977 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A	9,580	7,706	7,685	7,742
	(1)現金を伴う支出 (千円)	7,879	7,722	7,811	7,796
	事業費(支出済額-②報酬合計)	3,105	2,899	2,977	2,977
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	4,774	4,823	4,834	4,819
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	4,520	4,551	4,610	4,584
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	254	272	224	235
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	-16	-126	-54
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	1,702	-16	-126	-54
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	22.78 420,619	18.13 425,105	17.98 427,501	18.03 429,317	

成果実績	指標名	市民総合体育大会継承大会参加者数	目標	15,000	単位	20,000	単位	20,000	単位	20,000	単位	
		スポーツまつりふじさわの参加者数	実績	16,297	単位	20,571	単位	21,694	単位	19,407	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				587.84	374.61	354.25	398.93					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	スポーツまつりふじさわ, 市民総合体育大会継承大会をさらに盛り上げる必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会公認プログラム認定事業の検討を図るとともに, 各体育団体と連携しながら事業を実施する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	身近にスポーツに親しむ機会を設け, 市民の健康増進に寄与した。 また, 競技スポーツ推進を目的に競技会参加の機会を設け, 競技力向上並びにスポーツ人口の拡大が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後もだれもが参加できるスポーツまつりふじさわを開催し, スポーツに親しむ機会を市民へ提供するとともに, 市民総合体育大会継承大会を開催し, 市民に各種競技スポーツ大会への参加機会を提供する。引き続き, 県主催競技会に本市代表選手を派遣する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
6	藤沢市民総合体育大会継承大会に関すること	無	有	1	
7	スポーツまつりふじさわに関すること	無	有	1	
11	かながわ駅伝競走への選手派遣に関すること	無	有	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	指導者養成関係費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	06	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	平成 12 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	スポーツ基本法第32条に定められたスポーツ推進委員により組織された藤沢市スポーツ推進委員協議会へ研修会等を委託し、地域スポーツの推進を図る。						
対象	1. 個人	市民				429,317	人
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員対象事業：他市との交流研修会及びスポーツ研修会の開催 ・地域住民対象事業：ファミリーバドミントン大会の開催 ・上部団体等への参加：関東スポーツ推進委員研究大会及び神奈川県スポーツ推進委員大会への参加 ・機関紙の発行（年1回）とホームページによるスポーツ推進委員活動の情報提供及び紹介 						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先：藤沢市スポーツ推進委員協議会) (委託等内容：スポーツ推進委員育成研修等の開催業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 () <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 14,216 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
		報酬	13,916 千円	藤沢市スポーツ推進委員報酬											
		委託料	300 千円	藤沢市スポーツ推進委員育成事業業務委託											
財源内訳	H30年度 支出済額 14,216 千円	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.50</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.50
			平成30年度												
		正規職員等	0.50												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.50												
		費目	支出済額 (千円)												
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他 ()															
一般財源	14,216 千円														

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	20,656	19,676	18,945	18,981			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	18,954	19,692	19,071	19,035			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	14,180	14,869	14,237	14,216			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,774	4,823	4,834	4,819			
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	4,520	4,551	4,610	4,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	254	272	224	235			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	-16	-126	-54			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,702	-16	-126	-54			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	49.11	420,619	46.29	425,105	44.32	427,501	44.21	429,317

成果実績	指標名	各種研修会, 大会への参加人数	目標	300	単位	300	単位	300	単位	300	単位
			実績	368	単位	323	単位	296	単位	330	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		56,130.43		60,916.41		64,003.38		57,518.18			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	スポーツ推進委員事業への参加率向上を目指した取組みが必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	総会, 全体集会において年間計画の周知を行うとともに, 事業ごとに参加の呼びかけを行う。各事業に参加した推進委員から報告等を行うことで情報共有を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域でのスポーツ推進の要となるスポーツ推進委員を対象に各種ニュースポーツの実技・ルール等の研修会を開催した。また, 地域住民を対象とした各種ニュースポーツの大会を行うことにより, スポーツ推進委員としての役割や運営について理解を深め, その知識・技術を地域に還元することにより, スポーツの普及を図ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後もスポーツ推進委員を対象に各種研修・講習会を開催し, 地域のスポーツ・レクリエーション指導者の育成と協議会組織の強化を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
21	スポーツ推進委員に関すること	無	無	1	
22	藤沢市スポーツ推進委員協議会に関すること	無	有	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	スポーツ振興基金積立金								担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課					
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	08	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	平成 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、スポーツ振興基金を設置し、基金の積立を行う。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	条例(市) 藤沢市スポーツ振興基金条例				
事業実施内容	長期的な財源確保を図るため、スポーツ振興基金への積立を行った。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	6,281 千円	費目	支出済額(千円)		主な事業内容
		積立金	6,281 千円		スポーツ振興基金積立金
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		平成30年度	
	6,281 千円	費目	支出済額(千円)	正規職員等	0.10
		分担金・負担金		再任用短時・任期付短時職員	0.00
		使用料・手数料		非常勤職員	0.00
		国庫支出金		合計	0.10
		県支出金		※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員	
		その他(寄付金)	6,281 千円		
一般財源					

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	1,533	1,302	2,031	7,234			
	(1)現金を伴う支出(千円)	1,193	1,305	2,056	7,245			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	238	341	1,089	6,281			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	955	964	967	964			
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	904	910	922	917			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	51	54	45	47			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	340	-3	-25	-11			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	-25	-11			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	3.64	420,619	3.06	425,105	4.75	427,501	16.85	429,317

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		市民・団体等からの寄付金に対して指標の設定はできないため。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	ふるさと納税での寄付により支出額より積立額が上回ったが，長期的な財源確保は課題である。
(2) (1)解決のための今後の取組	スポーツ振興基金のさらなる周知を図るため，市内体育関係団体を通じた周知を実施するとともに，ふるさと納税の活用等による財源確保に取り組む。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	チャリティー活動，個人からスポーツ振興基金への寄付を受け付け，積立を行った。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	継続してスポーツ振興基金への寄付を受け付け，積立を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
42	スポーツ振興基金に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	スポーツ奨励事務費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	09	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務									
事業概要	地域スポーツの普及奨励に貢献された方を表彰する、体力づくり運動推進功労者表彰式の開催、国際大会・全国大会出場選手への賞賜金の交付及びスポーツ行政事務にかかる諸経費。															
対象	1. 個人		市民		429,317 人											
根拠法令等	法律等		スポーツ基本法													
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体力づくり運動推進功労者表彰式の開催 ・地域スポーツの普及・奨励に貢献された方を表彰 ・社会体育の分野で、国際大会・全国大会等に出場する選手に対し、賞賜金を交付 ・経常的な事務執行に伴う賃金・旅費・需用費・役務費・賃借料等執行 															
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () : () <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 神奈川県体育施設協会) <input type="checkbox"/> その他 ()															

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 4,028 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		賃金	1,122 千円	臨時職員賃金
		報償費	1,507 千円	全国大会等出場者賞賜金
		需用費	443 千円	事務消耗品ほか
		負担金補助及び交付金	6 千円	神奈川県体育施設協会分担金
その他	950 千円	傷害保険料 ほか		
財源内訳	H30年度 支出済額 4,028 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (スポーツ振興基金)	1,415 千円			
一般財源	2,613 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.60
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.60

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
行政費用 A	12,327	12,667	12,612	9,433				
(1)現金を伴う支出 (千円)	10,625	12,009	12,788	9,810				
事業費(支出済額-②報酬合計)	5,851	5,257	6,022	4,028				
償還金利息	0	0	0	0				
人件費合計(①+②+③)	4,774	6,752	6,766	5,782				
職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.70 0.00	0.70 0.00	0.60 0.00				
参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167				
①職員給与合計(常勤)	4,520	6,371	6,453	5,500				
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0				
③退職金相当額	254	381	313	282				
(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	658	-176	-377				
①減価償却費	0	0	0	0				
②退職給与引当金繰入額	1,702	658	-176	-377				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	29.31	420,619	29.80	425,105	29.50	427,501	21.97	429,317

成果実績	指標名	賞賜金交付対象人数	目標	200	単位	200	単位	200	単位	200	単位
			実績	161	単位	196	単位	215	単位	186	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			76,565.22	64,627.55	58,660.47	50,715.05					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	賞賜金制度の認知度の向上。
(2) (1)解決のための今後の取組	賞賜金制度について，市内体育関係団体を通じた周知やホームページへの掲載等を行い，認知度の向上に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	スポーツ競技者に対する賞賜金の交付，体力づくり・スポーツ活動の普及・奨励に貢献された方に対する表彰，後援名義使用許可申請手続きを行うなど，スポーツ活動の推進及びスポーツ行政の充実に図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	賞賜金の交付，各種表彰などを継続して行い，スポーツ活動の推進及びスポーツ行政の充実に取り組む。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
15	総合型地域スポーツクラブに関すること	無	無	1	
16	賞賜金に関すること	無	無	2	
17	体力づくり表彰・その他表彰に関すること	無	無	1	
18	各種大会の共催・後援許可に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	スポーツ施設整備費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 30 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民が安心して利用できるスポーツ・レクリエーション施設の整備・改修及び修繕を行う。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・八部公園野球場スコアボードの改修工事を実施し電光表示化を行った。 ・秋葉台文化体育館自動火災報知設備の更新工事を実施した。 ・その他、各スポーツ施設の破損箇所等修繕を行った。 						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 107,776 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	3,724 千円	八部公園屋内プール吸音壁緊急修繕ほか
		役務費	100 千円	事務手数料
		使用料及び賃借料	8,156 千円	葛原スポーツ広場賃借料,八部公園野球場コートローラー賃借料
		工事請負費	95,796 千円	八部公園野球場スコアボード改修工事ほか
財源内訳	H30年度 支出済額 107,776 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	63,000 千円	
		県支出金		
		その他(社会教育施設等整備事業費)	17,300 千円	
一般財源	27,476 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	107,518	230,662	183,179	112,229			
	(1)現金を伴う支出(千円)	107,279	230,681	183,330	112,595			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	101,551	224,893	177,530	107,776			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	5,728	5,788	5,800	4,819			
	職員数(常勤 非常勤)	0.60 0.00	0.60 0.00	0.60 0.00	0.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	5,424	5,461	5,531	4,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	304	327	269	235			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	239	-19	-151	-366			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	239	-19	-151	-366			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	255.62	420,619	542.60	425,105	428.49	427,501	261.41	429,317

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	民間体育施設活用費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	02	細目	001	説明	02	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 63 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	民間企業が所有または管理する体育施設を企業と事務負担金協定を締結し、広く市民に開放することで、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施内容	現在は武田薬品工業(株)グラウンドについて、本市・鎌倉市・武田薬品工業(株)の三者で平成28年1月に協定を締結し、毎月1回のグラウンドを無償借用し市民に開放している。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () : () <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 民間体育施設市民開放に伴う事務負担金) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	0千円	民間体育施設市民開放に伴う事務負担金
		0千円		
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		0千円		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他()				
一般財源	0千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	1,295	961	942	953
	(1)現金を伴う支出 (千円)	955	964	967	964
	事業費(支出済額-②報酬合計)	0	0	0	0
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	955	964	967	964
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	904	910	922	917
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	51	54	45	47
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	340	-3	-25	-11
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	-25	-11
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	3.08 420,619	2.26 425,105	2.20 427,501	2.22 429,317	

成果実績	指標名	利用可能施設数	目標	2	単位 箇所	2	単位 箇所	2	単位 箇所	2	単位 箇所
			実績	1	単位 箇所	1	単位 箇所	1	単位 箇所	1	単位 箇所
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,295,000.00		961,000.00		942,000.00		953,000.00			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	スポーツ施設の不足の声が上がっており，新たな施設の確保が求められている。
(2) (1)解決のための今後の取組	各競技団体等も含め，利用可能な民間施設の積極的な情報収集に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	平成30年度は武田薬品工業(株)グラウンドについて，市民へ月1回の利用開放を実施し，活動の場を提供することができた。	
今後の方針	事業の方向性	事業統合
	現在協定を結んでいる場所については継続して利用できるよう調整していくとともに，新たな施設について民間企業等の状況を調査し，利用できる施設の把握に努める。類似する他の予算科目との統合について，検討する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
40	民間体育施設開放に関すること	無	有	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	学校夜間照明施設関係費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	02	細目	001	説明	03	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	平成 2 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市内小中学校3校(明治小学校・御所見中学校・長後中学校)に設置されている学校屋外運動場夜間照明設備により、市民に夜間の屋外スポーツ活動の場を提供する。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施内容	市内小中学校3校(明治小学校・御所見中学校・長後中学校)に設置の学校屋外運動場夜間照明により、屋外スポーツの推進と市民の健康増進の推進を図る。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 増子電気工事(株), (公財)藤沢市まちづくり協会)						
	(委託等内容 : 学校屋外運動場夜間照明施設清掃点検業務, 学校屋外運動場夜間照明施設管理業務)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)						
<input type="checkbox"/> その他 ()							

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 4,322 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	1,466 千円	照明安定器修繕, 石灰, 管理日誌
		委託料	2,831 千円	学校屋外運動場夜間照明施設管理業務委託ほか
		原材料費	25 千円	グリーンサンド
財源内訳	H30年度 支出済額 4,322 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	1,060 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	3,262 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	6,039	6,653	6,426	7,181			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	5,358	6,323	6,501	7,213			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	3,449	3,430	3,601	4,322			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,909	2,893	2,900	2,891			
	職員数(常勤 非常勤)	0.20 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	1,808	2,730	2,766	2,750			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	101	163	134	141			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	681	330	-75	-32			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	681	330	-75	-32			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	14.36	420,619	15.65	425,105	15.03	427,501	16.73	429,317

成果実績	指標名	利用者数	目標	6,000	単位	7,000	単位	7,500	単位	7,500	単位
			実績	6,160	人	7,148	人	7,721	人	6,936	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			980.36	930.75	832.28	1,035.32					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	夜間照明設備の老朽化が進んでいるため，修繕が必要。
(2) (1)解決のための今後の取組	修繕が必要な夜間照明設備の優先順位を把握し，計画的に修繕する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	学校体育施設を有効活用することにより，市民に夜間の屋外スポーツ活動の場を提供し，市民の健康増進および屋外スポーツの推進が図ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き，学校屋外運動場に夜間照明施設を設置している3校（明治小学校，御所見中学校，長後中学校）の一般供用を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
33	学校屋外運動場夜間照明設備の保守管理業務に関すること	無	有	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	スポーツ施設維持管理事業費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	02	細目	001	説明	04	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	平成 18 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	指定管理者制度によるスポーツ施設管理運営, スポーツ広場維持管理及び奥田公園駐車場負担金に係る経費。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	地方自治法, 藤沢市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例, 同施行規則, 他					
事業実施内容	・運動施設等指定管理業務・スポーツ広場管理運営業務・石名坂温水プール駐車場システム保守点検業務 ・石名坂温水プール駐車場管理装置賃借・奥田公園駐車場負担金の支払い・まちかどスポーツ広場維持管理						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者 : (公財) 藤沢市みらい創造財団) (委託等内容 : 運動施設等指定管理)						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : (公財) 藤沢市まちづくり協会)						
	<input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 974,601 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	8,173 千円	スポーツ施設登録カードほか
		委託料	930,593 千円	運動施設等指定管理料, スポーツ広場管理運営業務ほか
		使用料及び賃借料	358 千円	石名坂温水プール駐車場管理装置賃借料
		負担金補助及び交付金	35,210 千円	奥田公園駐車場負担金
		その他	267 千円	体育館備品ほか
財源内訳	H30年度 支出済額 974,601 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	892 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (諸収入)	12,305 千円			
一般財源	961,404 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	1,087,320	1,058,427	1,073,325	102,688,673			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	989,860	965,441	980,095	989,388			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	965,840	946,695	965,412	974,601			
	償還金利息	10,654	4,277	183	332			
	人件費合計(①+②+③)	13,366	14,469	14,500	14,455			
	職員数(常勤 非常勤)	1.40 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	12,656	13,652	13,829	13,751			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	710	817	671	704			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	97,460	92,986	93,230	101,699,285			
	①減価償却費	92,695	92,694	93,607	101,699,447			
	②退職給与引当金繰入額	4,765	292	-377	-162			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	2585.05	420,619	2489.80	425,105	2510.70	427,501	239190.79	429,317

成果実績	指標名	施設利用者数	目標	1,320,000	単位	1,350,000	単位	1,380,000	単位	1,350,000	単位
			実績	1,357,349	単位	1,358,376	単位	1,395,856	単位	1,352,424	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			801.06	779.19	768.94	75,929.35					

※1 職員数…〔常勤〕一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費…〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額…年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	多様化する市民ニーズに応え, サービスの向上図るため, 市民の意見を把握する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	例年実施している利用者へのアンケート等を継続して実施し, 結果の検討を行うことにより市民の意見を反映させる。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	運動施設等の指定管理者による管理運営を行うことにより, 経費の節減と市民サービスの向上が図られた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	今後も指定管理者による運動施設等の管理運営を行うことにより, 経費の節減と市民サービスの向上を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
28	スポーツ施設予約システムに関すること(IT関連を含む)	有	有	1	
30	スポーツ施設の維持管理に関すること	有	有	1	
31	スポーツ広場の管理・整備・便所清掃業務に関すること	無	有	1	
38	まちかどスポーツ広場の設置及び運営管理に関すること	有	有	1	

※リスク分類Ⅰ…市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ…組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------